

広島大学と東広島市教育委員会との連携事業について

1 概要

平成16年度に、広島大学大学院教育学研究科と東広島市教育委員会は、学校教育及び生涯学習上の諸課題の解決と充実を図ることを目的に「研究協力に関する覚書」を締結した。

これに基づき、広島大学における学部等の教育及び東広島市における学校教育及び生涯学習を中心とした諸活動にそれぞれの成果を活用するため、学校教育及び生涯学習上の諸課題に関する基礎的・実践的研究について相互に連携を行っている。

2 研究内容

覚書に基づき連携して実施する基礎的・実践的研究の内容は次のとおり。

- (1) 教育における情報のネットワーク化に関すること。
- (2) 学校評価に関すること。
- (3) 教員に求める資質・能力に関すること。
- (4) 現職教員及び教員研究グループへの指導助言に関すること。
- (5) 学習指導の改善充実に関すること。
- (6) 生徒指導上の諸問題への対応に関すること。
- (7) 生涯学習の推進に関すること。
- (8) その他両者が必要と認めるもの。

3 令和6年度連携事業

別紙のとおり。

令和6年度 広島大学と東広島市教育委員会との連携事業一覧

課・係	事業名	事業概要	連携種別	令和6年度事業予定
広島大学	フレンドシップ事業	「ゆかいな土曜日」とも呼び、教員養成学部が、地域の小学校に在学する児童及び住民とともに自然体験・勤労体験などの直接体験活動を行う。	連携	・期間・・・令和6年6月～12月 ・月例活動(土曜日)・・・年6回 ・東広島市立の全小学校(36校)から60名程度を募集予定(4年生以上)。
	「教職入門」(第1類初等教員養成コース授業)・学校及び授業見学	教職の意義及び教員の役割、教員の研修や服務などを含む職務内容、学校教育の現場の観察など、幅広い見地から教職について学び、教職への強く確かな動機付けを図る。	連携	令和6年10月28日(月)9時～11時 実施予定 ・市内小学校5校(希望校:西条小学校、三ツ城小学校、御園宇小学校、原小学校、郷田小学校、寺西小学校、板城小学校、龍王小学校)に依頼予定。
	カウンセリング事業 「にこにこルーム」	心理学を基盤とする心理教育的援助活動の一環として、算数や数学が分からなくて困っている子どもや学習意欲を失っている子どもに対して、個別相談を行うとともに指導や援助を行う。	連携	・学習相談について 相談日・・・水曜日(令和6年5月8日～7月24日の期間) 17時～18時(前半)又は 18時15分～19時15分(後半) ・教育臨床相談について 開室曜日・時間帯・・・日曜日10時～17時30分 (教員への相談・コンサルテーション・・・木曜日17時～20時、日曜日10時～17時30分)
	教職インターンシップ事業	令和7年度教員採用試験合格者及び臨時的任用教員・非常勤講師を希望する学部生・院生・専攻科生を対象に、東広島市内の小中学校において職業意識と専門能力の向上を図るために実習を行う。	連携	・学校の希望を募り、派遣を希望する学生を派遣する。 ・令和7年2月12日(水)から2月18日(火)に実施予定(5日間)。 ・希望する学校には、可能な限り学生を派遣するように調整する。
	広島大学教育学部「教職実践演習(中・高)」	教員として必要な最小限の知識技能が習得できているかどうかを確認し、それらを補完したり向上させたりする授業として位置付け、実施する。「教員免許ポートフォリオ」の蓄積情報を活用し、「広島大学教員養成スタンダード」8規準に沿ったリフレクションとフォローアップを行う。 10月・11月・・・授業実施	連携	・授業実施予定日 10月28日(月)16時20分～17時50分(第4回) 11月7日(木)16時20分～17時50分(第5回)
東広島市教育委員会 (学校教育部指導課)	東広島学校通信(教育広報紙)作成事業	本市学校の実績や教員の実践等、学校教育における優れた営みを広報することを通して、保護者や地域住民の学校教育への理解や信頼感を高めることを目的に発行する広報紙を、広島大学教職大学と連携して作成し発行する。	連携	・年間2回発行の教育広報紙の第2回目に、広島大学とのコラボ企画を掲載する。 ・上記コラボ企画掲載に向けた、紙面充実に資するイベント及び会議を実施する。
	広域交流型オンライン学習	市内小学校と地域の学び場、広島大学等をオンラインでつないだ遠隔授業やデジタル教材作成等を実施する。 市内中学校4校(志和・福富・豊栄・河内)と広島大学をオンラインでつないだ遠隔授業を実施する。	連携	・年間11回(小学校)及び年3回(中学校)の遠隔授業を実施する。 ・遠隔授業に加え、日常の授業でも活用できる資料を作成し、デジタルコンテンツとして充実させる。
	特別支援教育大学生サポーター	市内小中学校の発達障害のある児童生徒に学習面や生活面の支援を行う学生を派遣する。	連携	・市内小中学校の発達障害のある児童生徒に学習面や生活面の支援を行い、安定した学校生活を過ごせるようにするため、特別支援教育大学生サポーターを派遣する。 ・学生の人材確保とスムーズな派遣のため、学校の希望を元に大学が派遣する学生を調整する。 ・1日4時間まで、週18時間まで ・1時間当たり1,070円
	理科観察実験アシスタント配置事業	観察・実験活動の資質の向上をはじめとした理科教育の充実のため、人的・物的の両面から総合的な支援を実施する。平成25年度から国庫補助事業である(1/3補助率)。	連携	小学校8校に大学(院)生を派遣し、理科室及び理科準備室などの環境整備や理科の観察や実験活動に係る準備、片付け等を行うことで、理科の観察、実験の充実を図る。
	日本語指導教育連携事業	本市の小中学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒への日本語指導の充実を図る。	連携	三ツ城小学校を拠点校とし、日本語指導が必要な児童への指導方法・内容等を充実させる。また、学生ボランティアの体制を整え、学生ボランティアを派遣する。
	特別なニーズへの支援事業	発達障害等のある小中高校生を対象とする文字・画像付き音声教材(読み上げ機能の付いた教科書)「UD-Book(IDe-Pat)」の効果的な使用に係る調査研究協力を行い、本教材の本市児童生徒への提供について検討する。	連携	発達障害等のある小中高校生を対象とする文字・画像付き音声教材(読み上げ機能の付いた教科書)「UD-Book(IDe-Pat)」の学校への普及協力。
	東広島市スクールリーダー育成研修	所属校の諸課題を明らかにし、課題解決を図る過程を通して自己の役割を自覚させるとともに、学校の組織的な運営の中核となる役割を果たすスクールリーダーとしての資質の向上を図る。	連携	各学校長が推薦する主任等または主任候補者等を実施(全5回) 第1回 6月7日(金) 第2回 7月26日(金) 第3回 8月23日(金) 第4回 11月8日(金) 第5回 1月30日(木)、2月5日(水)

課・係	事業名	事業概要	連携種別	令和6年度事業予定
東広島市教育委員会（生涯学習部生涯学習課）	ひがしひろしまスペースクラブ	院生・学部生が講師となり、小学生を対象に「宇宙」や「天体」を中心とする科学的な興味・関心を追求する場を提供する。	連携	小学4～6年生を対象に、全8回（AB2クラス×8回）の講座で、宇宙について学習する。 第1回 7月6日（土）AB合同、第2回 8月3日（土）AB合同、 第3回 9月28日（土）AB合同、第4回 10月19日（土）AB合同、 第5回 11月18日（月）A、11月15日（金）B、 第6回 11月30日（土）AB合同、 第7回 12月9日（月）A、12月13日（金）B、 第8回 3月1日（土）AB合同
	中央生涯学習主催講座	広島大学の教授、准教授が講師となり、一般市民を対象とした学習の機会を提供する。	連携	市民を対象に、生涯学習センター及び地域センターで「主催講座」を実施予定。
	生涯学習サテライトキャンパス講座	市民が生涯に渡り学び、活躍できる環境を整えることを目的に、市内大学の日頃の教育・研究活動で得られた成果を身近に学ぶ機会を提供するため、市内にある生涯学習センター等において、大学と連携した講座を実施する。	連携	市民を対象に、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学と連携し生涯学習センター、地域センターで計18回実施予定。
	ひがしひろしま情報みらい塾	市内大学や研究機関の知見を活用し、プログラミングなどの技術を通して、子どもたちの創造力や論理的思考を養い、情報科学に興味や関心を高める場を提供する。	連携	小学3～6年生を対象に「しか・いのししから地域を守る！プログラミング講座」を全3回実施予定。 第1回 8月31日（土）14時～16時、 第2回 9月7日（土）14時～16時、 第3回 9月14日（土）14時～16時
	理系・イノベーション講座	日常生活の中で、理系分野の学問がどのように活用され、生活を豊かにしているかを子どもが学ぶことで、理系分野全般への興味関心を高めることを目的に実施する。	連携	小学生、中学生を対象に、理系・イノベーション講座を6回（企業4講座、大学2講座）実施予定。
	生涯学習活動推進事業	学習者を主体とした課題解決型学習活動において、広い市域で効果的な取り組みに繋げるデジタルの活用と、他者との協働活動に不可欠なリアル活動を組み合わせた取組を推進する。 特に、当該事業のDX化においては、広島大学教育学部で推進している「人文社会科学分野におけるデータサイエンス・コンピュータサイエンス人材育成事業」との連携を図り、効率的・効果的な運営と人材の育成の協働を図る。	連携	集合型オンライン講座開催を4回（文化、青少年、スポーツ、生涯学習の4分野）実施予定。